

新たに地域おこし協力隊が 2名加わりました!!

6月1日から、新たに「那須町地域おこし協力隊」として2名の協力隊員が加わるようになりました。現在、男性3名、女性3名の計6名が、地域活性化と自らの定住に向け日々奮闘しています。

町では平成27度から地域おこし協力隊の制度を開始しました。協力隊員の任期が3年間ということもあり、今年度で任期が満了する隊員が3名います。新協力隊員2名の紹介と合わせて、改めて4名の協力隊員の活動内容を紹介します。

▼新任協力隊員の紹介

○石田 多朗（いしだ たろう）

〈出身地 東京都文京区〉

妻の実家が黒田原にあること、



左から木下さん、星野さん、友光さん、中村さん、石田さん、大瀧さん

芦野の石の美術館でコンサートを開いたこと、そして那須中央中学校の校歌を作曲したことなど、那須町とは以前から縁がありました。その那須町で音楽や芸術に関する分野に携わらせていただくことになりました。やりたいことは多々ありますが、それらがそもそも実現可能なのか、また、もし可能であったとしても意義があるのか、そこを見計らった上で行動を起こしていきたいと考えています。任期は2年10カ月ととても短いですが、その間に新規なものを立ち上げ、かつ、継続させることが可能なのか、それよりも那須の歴史の中に埋もれた、または埋もれつつあるものを掘り起こし磨き上げることが良いのか、赴任して数日の今段階では判断がつきません。これから人、歴史、地理などについてリサーチをし、考えながら行動をして参りたいと思います。

○星野 瑞季（ほしの みずき）

〈出身地 栃木県那須塩原市〉

進学と就職の関係で東京都と千葉県で生活していましたが、私にとって山の見えない生活は寂しいもので、帰省するたびにふるさと景色を見て安心した自分があることに気づきました。こうして那須町で暮らせる機会をいただき大変うれしく思います。

私は今までリラクゼーションセラピストとして人々の心身を癒し、健康生活をサポートしたいと考えて活動してきました。現在は、「健康」とは一般的に考えられる心身の健康だけではなく、経済の安定、やりがいを持った人生、人生の試練に対応できる考えなどが健康に欠かせない要素だと考えています。那須町の皆さんと新しい視点で健康促進に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

▼協力隊員の主な活動内容

【3年目】

○木下 愛貴（きのした あいき）

・黒田原をゆるキャラ「ククロとゆめな」でPR活動

・鳥獣被害対策や黒田原駅前でのラジオ放送等

○中村 舞子（なかもら まいこ）

・那須町の伝統工芸「篠細工」の継承

○友光 沙季（ともみつ さき）

・那須ナチュラルチーズの普及や「つながるひろがるアート展」での作品普及活動等

【2年目】

○大瀧 剛（おおたき つよし）

・「伊王野陣屋」を拠点としたイベント企画

・自転車関連等

▼問合せ

ふるさと定住課定住促進係 ☎7269555

防災のワンポイント



台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。特に7月から10月にかけて、台風が最も多く発生するため、十分に注意をしましょう。

【台風が接近する前の行動】

- ・テレビ、ラジオ、インターネット等さまざまなツールを利用し、最新の台風情報を入手しましょう
- ・家周りの点検、窓・雨戸の補強、浸水対策（漏電等）等を行いましょう
- ・ライフラインの断絶に備え、3日分の食料や飲料水を備蓄すると共に、非常持ち出し品を準備しましょう

【台風が接近してからの行動】

- ・増水した用水路は、道路との境目が分からなくなるため、見回りは絶対にやめましょう
- ・暴風や突風にあおられて転倒する危険があるため、屋外での作業は絶対にやめましょう
- ・台風の接近に伴う、大雨や強風による事故に巻き込まれないよう、不要不急の外出は控えましょう

